

在来線 災害対応訓練の実施について

在来線では、災害等の異常時における実践力の強化を目的に、毎年様々な訓練を実施しています。今回、大雨による災害を想定した工務関係災害対応訓練を実施するほか、「世界津波の日」に合わせて、津波避難誘導訓練を実施します。

1. 工務関係災害対応訓練

大雨により、線路やケーブルなどの各種設備が複数箇所で同時に損傷した災害を想定し、保線・土木・電力・信号通信の各系統間の連携が必要な訓練を実施します。

(1) 日 時 2018年10月30日(火) 10時00分～17時30分

(2) 場 所 千種実習線

(3) 参加人員 約100名

(4) 主な訓練内容

- ・ 発災直後の初動体制の構築
- ・ 複数箇所で同時に被災した場合の復旧計画の策定
- ・ 流出した線路の砕石の復旧
- ・ 落石を検知する設備等の復旧



昨年の訓練風景

2. 津波避難誘導訓練

地震発生時に、津波危険予想地域に列車が停車したことを想定し、安全かつ迅速に、乗車中のお客様の避難誘導を行う訓練を、沿線の小学生約60名に参加いただき、実際の車両を用いて実施します。

(1) 日 時 2018年11月5日(月) 12時50分～15時00分

(2) 場 所 紀勢本線 相賀駅～尾鷲駅間

(3) 参加人員 約100名

(4) 主な訓練内容

- ・ お身体の不自由なお客様の避難を想定した訓練
- ・ 車内放送、避難梯子設置等によるお客様誘導
- ・ 運転士タブレットを使用した避難経路確認



昨年の訓練風景